

昨年来場者数約26,000人、西日本最大の国際協力イベント 「第23回ワン・ワールド・フェスティバル」 味の素CSR部など活動団体とクリエイターのトークセッション初開催

～普段関係性が希薄な、国際協力団体と大阪のクリエイターの相互理解を目指して～

クリエイター支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史、以下メビック扇町)は、2月6日(土)、7日(日)に開催される「第23回ワン・ワールド・フェスティバル」(主催:ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会、以下OWF)に参画、会場提供を行います。6日には、ガーナの子どもたちの栄養改善に取り組む、味の素株式会社CSR部など3団体と大阪のクリエイター(*)3人が互いに活動を紹介し、理解を深めるトークセッションを行います。

* クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

世界で多発するテロや深刻化する難民問題などに対し、今、国を超えた連携協力の必要性が高まっています。こうした中、あらためて関西で国際協力の重要性を発信し、市民に活動参加のきっかけを提供しようと、国際協力に携わるNGO、国際機関、自治体、企業など約60団体が協力し、西日本最大の国際協力の催しとして、OWFが開催されます。一方、2003年に発足したメビック扇町は、東京に次ぐクリエイティブ産業集積地大阪で、クリエイターが競争しつつ、緩やかに協力しあう環境づくりを目指し、中小企業や大学などの協業・連携を推進しています。また近年は、農業や非営利活動など、より幅広い分野で、クリエイターの力が求められるようになりましたが、互いの活動や考え方を理解する場が必要でした。

今回、昨年に続きメビック扇町がOWFに参画することで、普段関係性が希薄なクリエイターと国際協力団体が互いの理解を深め、これをきっかけに、活動の認知度向上に繋がる協働が増えていくことを期待しています。



■NPO/NGO対象に、クリエイティブ相談ブース設置

今年は「味の素株式会社CSR部」、「公益財団法人PHD協会」、「認定NPO法人 ムラのミライ」とWeb、空間、プロダクト分野でそれぞれ活躍するデザイナー3人によるトークセッションを実施。「NGO・NPOとクリエイターとのこれからの関わり」をテーマに、自由な公開対話を行います。また、2日間にわたってクリエイティブ相談ブースを設け、参加している活動団体のPRについて相談を受けたり、情報発信をサポートする適切なクリエイターを紹介します。

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当: 松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F

TEL:06-6316-8780 (平日 10:00 ~ 21:30)

FAX:06-6316-8781

e-mail:info@mebic.com

ホームページ: <http://www.mebic.com/>

参考資料

■第23回ワン・ワールド・フェスティバル詳細(チラシ添付)

■企業CSR・NGO / NPO × クリエイター コラボレーショントーク！！

- 日時 2016年2月6日(土) 13:00~15:00
- 会場 OWFメビック扇町会場内特設ステージ(大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F)
- 参加費 無料(申込不要)
- 問合せ メビック扇町 TEL:06-6316-8780 e-mail:info@mebic.com
- 主催 クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 / (特活)関西国際交流団体協議会

スピーカープロフィール・活動内容

中尾洋三氏 | 味の素株式会社 CSR部 専任部長

妊娠から2歳までの「最初の1,000日」の栄養状態の改善は、乳幼児の死亡リスクの低減にとどまらず、知能の正常な発育を促し、成長後の慢性疾患のリスクの低減にも影響を与えられています。味の素グループは、その離乳期の子どもの栄養改善を国際機関、JICA、現地政府の保健機関やNGO等の幅広いソーシャルセクターの協力を得ながら持続可能なビジネスの力で進めていく新しいソーシャル・ビジネス・モデルの構築に取り組んでいます。

坂西卓郎氏 | 公益財団法人PHD協会 事務局長

アジア地域からの研修生の招へい、帰国後のフォローアップを通じて、草の根の人々による自立した村づくりと生活向上に協力すること。日本の人々もアジアの人々との交流を通じて学び、そこから毎日の生活を問い直し、平和と健康を担う人材を育成し、共に生きる社会を目指す。クリエイターとの協働では、今年度外務省NGO相談員国際協力大学生エッセイコンテストを実施。

宮下和佳氏 | 認定NPO法人ムラのミライ 専務理事

日本と海外の両方で、地域資源を活かした循環型の暮らしづくりと、そうした活動を実現できるスキルを持つ人づくりに取り組んでいます。活動現場での試行錯誤を踏まえて「メタファシリテーション」という手法を作り上げ、研修開催・講師派遣・出版などを通じて普及。当事者主体の課題解決を促す 具体的な手法として注目を集めつつあります。

南 大成氏 | HIROMINAMI.DESIGN 代表

鹿児島県生まれ、大阪在住のプロダクトデザイナー。2006年、英国シェフィールドハラーム大学、BAプロダクトデザイン学部を卒業。ムラタチアキ氏に師事後、グラフィックプロダクション勤務を経て2011年に独立。2014年には合同会社アルルカンプロダクトを立ち上げ、皮小物の企画・デザイン・製造・販売まで一貫して手がける。自身が一生活者として経験する「感情」や「機能」を整理し、実生活で使える「生活者視点のデザイン」を信条に活動中。

松木のんこ氏 | 有限会社ブルーム ウェブデザイナー／グラフィックデザイナー

大学を卒業後、総合商社のメーカー部門にてデザインを経験した事をきっかけに、仕事を辞めて単身渡米。NYで3年間、DTPとWEB制作について学ぶ。2012年有限会社ブルームにてデザイン業務をスタート。web制作(デザインからコーディング、CMSサイトの制作、カートシステムを利用したネットショップ制作)を中心に、販促ツール、ポスター、名刺やちらし、ショップカード、パッケージ等のデザインを手がける。

吉永幸善氏 | パラボラデザイン 代表

企業ショールーム、文化施設の常設展示設計や展示会ブース、内覧会の仮設設計を生業とする。また、個人的な活動として「楽しい事は正しい事！」を基本理念とした協創LLPという集団の中心メンバーとして、協創から産まれるプロジェクトをクリエイターとしての視点でアイデアと技術、両方の面でサポートをおこなっている。